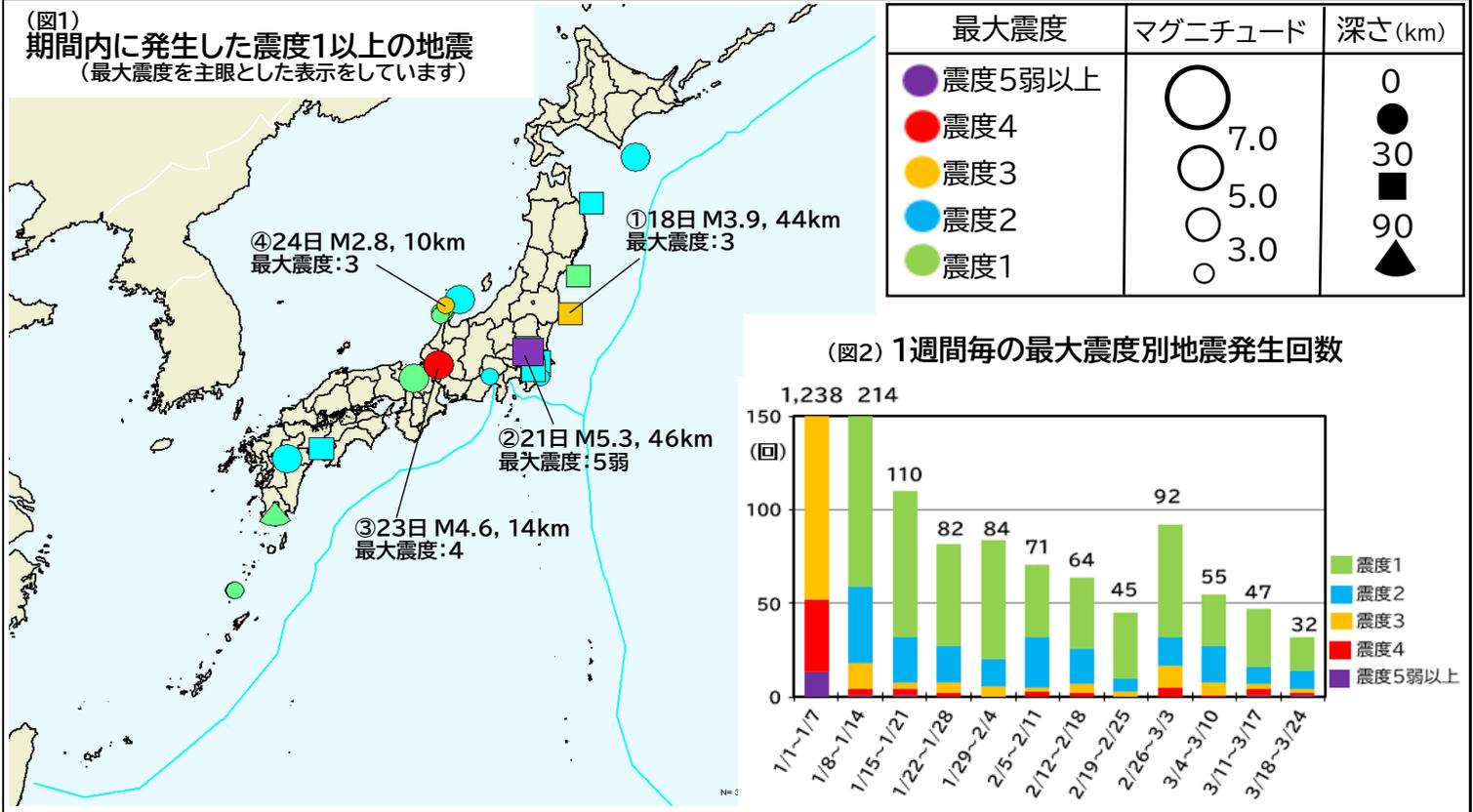


この期間の最大震度は5弱(茨城県南部で発生した地震)

本資料は上記期間に国内で発生した震度1以上の地震についてまとめたもの (出典:気象庁震度データベース/地震情報)



主な地震の発生状況 (図1,図2参照)

- この期間、震度1以上の地震が32回発生。最大震度は5弱(茨城県南部で発生した地震)。
- ① 3月18日02時25分に福島県沖で発生した地震(M3.9、深さ44km)により、福島県大野町で震度3を観測したほか、宮城県から茨城県にかけて震度2~1を観測。
- ② 3月21日09時08分に茨城県南部で発生した地震(M5.3、深さ46km)により、栃木県下野市、埼玉県加須市で震度5弱を観測したほか東北地方南部から関東・信越・中部地方にかけての広い範囲で震度4~1を観測(トピックス参照)。
- ③ 3月23日08時31分に岐阜県美濃中西部で発生した地震(M4.6、深さ14km)により、岐阜県揖斐川町で震度4を観測したほか信越地方から近畿地方にかけて震度3~1を観測。
- ④ 3月24日15時53分に石川県能登地方で発生した地震(M2.8、深さ10km:速報値)により、石川県輪島市で震度3を観測。

トピックス

- 茨城県南部の地震活動 ■
- ・茨城県は陸のプレートの下にフィリピン海プレートと太平洋プレートの2つのプレートが重なり合うように沈み込んでいる複雑な地下構造となっており地震活動が活発な地域です。
- ・複雑な地下構造であるため地震が発生する場所は、陸のプレートやフィリピン海プレート等のプレート内部で発生するもの、それぞれのプレート境界で発生するもの等多様です。
- ・地震の発生場所をよく見ると、北北西-南南東に並ぶ2列の地震群に分かれて発生している様子が見られます(図3の青と緑の破線)。
- ・その一つは西の鬼怒川側(深さ40~60km、もう一つは東の筑波山側(深さ50~80km)の地震群です(図4)。
- ・21日に茨城県南部で発生した地震(M5.3、深さ46km、最大震度5弱)は、西の鬼怒川側で発生したもので、震源の深さや発生の仕方からフィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した逆断層型の地震と推定されます。
- ・この西側の地震群で発生した最近の地震としては、2016年5月16日のM5.5、深さ42km、最大震度5弱があり、M5程度の地震がしばしば発生している。
- ・茨城県南部は震度1以上を観測する地震が多いなど活発な活動が見られますが、被害を伴う地震は少ないという特徴があるとも言えます。

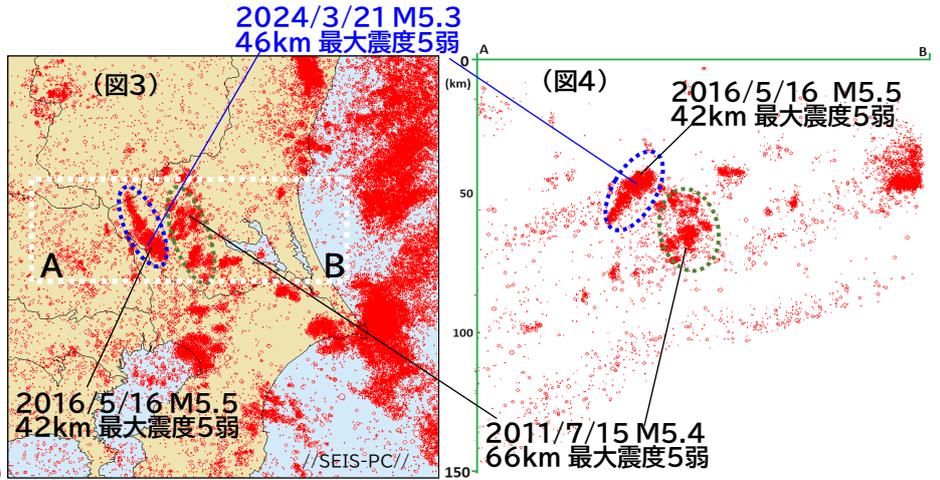


図3:震央分布図 1997/10/1 --- 2024/3/23 M \geq 2.0 深さ \leq 150km
図4:図3の白破線内の断面図